

方程式の歴史

【歴史1】

世界最古の数学書といわれる古代エジプトのアーメス・パピルスという本に、次のような問題が、象形文字で書かれていた。

「未知数，その $\frac{2}{3}$ その $\frac{1}{2}$ その $\frac{1}{7}$ その全体で37」

【歴史2】

方程式の解き方の基礎をつくったのは，1700年ほど前のギリシャの数学者ディオファントスといわれています。彼については，ほとんど何も知られていませんが，彼の墓には次のような文が書かれていたといえます。彼は何歳まで生きたのでしょうか。

ディオファントスは，一生の $\frac{1}{6}$ を少年として過ごし，その後，一生の $\frac{1}{12}$ たってからひげをのばした。さらに一生の $\frac{1}{7}$ たって結婚し，5年後に子どもが生まれた。この子どもは父の一生の半分だけ生き父より4年前にこの世を去った。

【歴史3】

「九章算術」は，中国でもっとも古い数学書で，いまから1900年ほど前のものと言われている。その名が示すように，全体が9章で構成されている。方程ということばは，この本の第8章である「方程」の名に由来している。

参考URL：

<http://math-info.criced.tsukuba.ac.jp/Forall/project/history/index.html>